

自分研究をしよう

(超入門編・オンライン)



- ☐ 開始時間になりしたら、マイクをオフにしてください。(イヤホン推奨)
- ☐ 表示名、カメラオン/オフは任意です。
【企業の説明会などへのオンライン参加の場合は、本名。カメラオンが基本です。】
- ☐ **録画、録音は禁止**します。
- ☐ 20分と短い講座です。聞くことに集中してください。



自分研究（自己理解）の目的を知る



自分に合うって何？
やりたいことってないとダメなの？
「やりたいことはなくてもいい」と思います。
もし、やりたいことに会っていればラッキー。
そうでなくても「当たり前」くらいの気持ちでいい。



自己分析（自己理解）×社会分析（業界企業研究）が
どうして求められるのか？
この講座は、今までとは違う視点を学び、自身で考えて
いく、きっかけにしてください。

自己分析
(自己理解)

×

社会分析
(業界・企業研究)



自己分析×社会分析のイメージ図です

学生コミュニティと企業の違い

就職活動を始めるにあたり、学生コミュニティと企業の違いを認知することが大切です。サービスや商品を提供される「消費者視点」ではなく、生産者でありサービスや商品を提供する（ビジネス）視点で企業を見ていく必要があります。

	学校（大学）	社会（企業）
数	780校	約200～300万社 新卒採用実施は約3万社
選抜	客観的 点数・偏差値・学力	主観的（相性・地アタマ・能力・縁） ＋ 客観的（筆記試験；SPIなど）
合格率	おおよそ5～15倍前後	ばらつきが大きい （倍率が高い≠良い企業）
正解	正解がある 暗記	正解がない 納得解
役割	消費者（支払う・受ける） 自由	生産者（提供する） 責任・義務・権利

就活開始時に「やってしまいがち」なこと



「即席の興味関心」のみで業界、企業、仕事にとらわれてしまう



「こういう会社に合うはずの自分」、「こんな仕事に相應しいはずの自分」を繕ってしまう

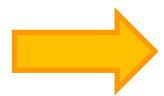


「きっかけ」＝「志望理由」にはなりません！

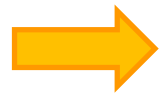
理由もなく「ブランドや有名企業」というだけで選んで行っても、その多くは自分に合っていない可能性もあります。

**「即席の興味関心」では、
選考は通過できない**

自己分析（自己理解）だけでは、 仕事選択の幅は広がらない



人生において、重大な選択を迫られた時に、選ぶ条件や理由を考えるために行うのが『自己分析（自己理解）』

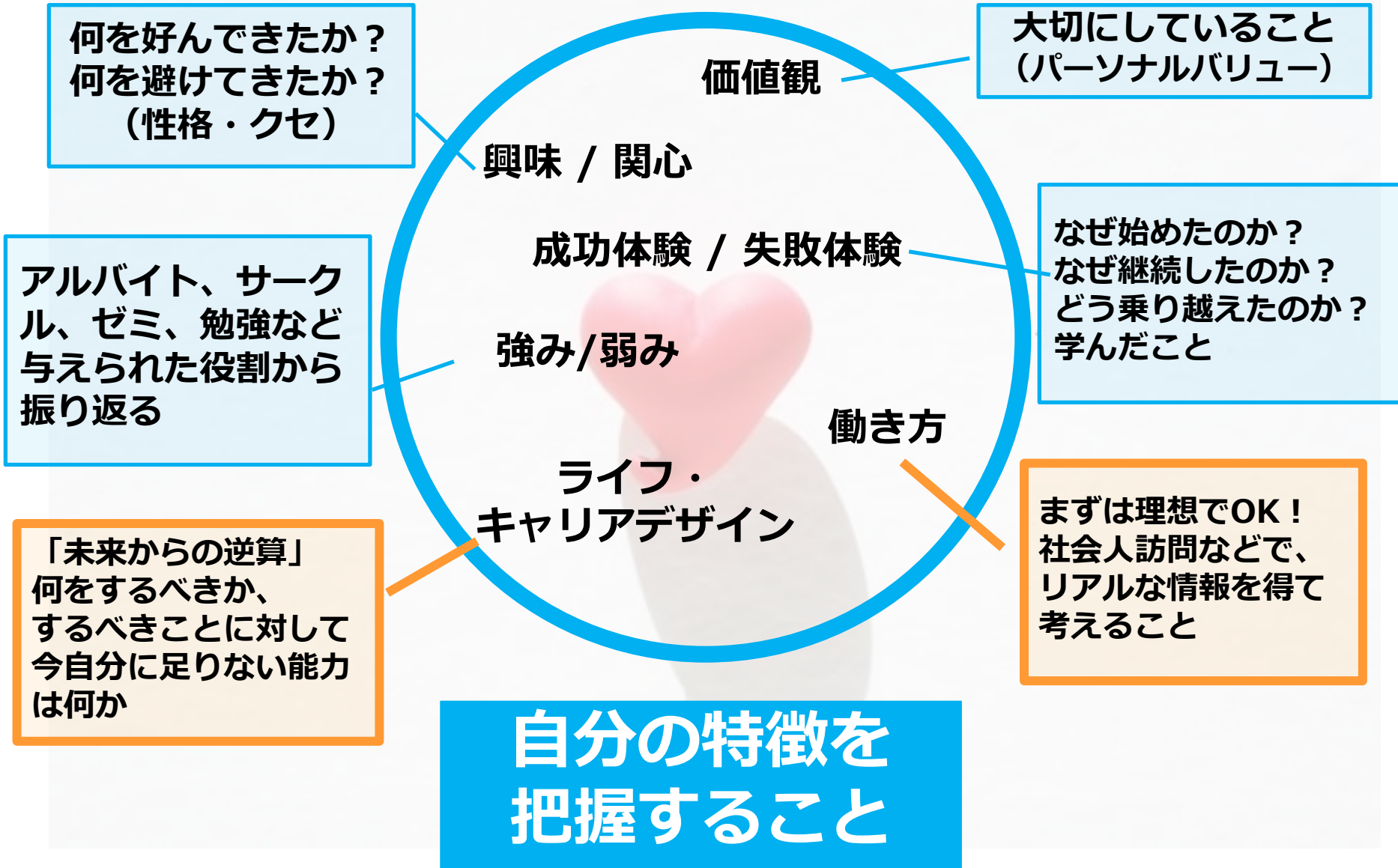


自己分析でアウトプット（可視化、言語化など）したら、他者に「話す、聴いてもらう、相談する」ことが大切です。100点満点の自己分析はありません！ここまですれば正解ありません！



「興味がある、好きなこと」と「適性」が一致しない可能性もあります。「適性から働き方を考える」など視点を必要もありません。

自己理解＝今の自分を起点にして考える



そもそも企業の特徴や 仕事内容を知らなければ 自分に「合う・合わない」は 判断できない

➡ 志望動機が「全力ミーハー（好きだから）」はNG。
業界や企業の特徴を掴むためには、**他社比較は必須！**

➡ 同じ組織にいても「働き方に対する考え方」は人それぞれ。
社会人訪問を通じて、リアルな情報を得ていきましょう。
自己理解のアップデートにつながります

➡ 企業には強みがあれば、当然「課題」も存在します。
その課題をどのように解決しようとしているのか？
その課題に「あなたは一緒になってチャレンジしたいか
したくないか」という視点も必要です。

社会分析＝業界・企業研究

就職四季報
業界地図
業界研究をしよう

役割・立ち位置

強み（シェア・ニッチ）

事業 / 仕事 / 職種 / 社風

働いている人
（考え方、価値観、キャリアプラン）

働き方
（3～5年目 / 10年以上、
パラレルキャリア）

企業の課題
（長期的な視点）

社会人訪問

インターンシップ

自己分析 × 社会分析



自分が納得できていないことが、相手に伝わるでしょうか？

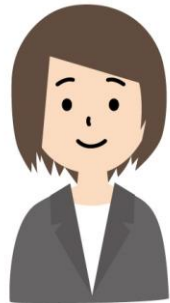
企業が「就活の軸」を質問するのはなぜ？



自己分析はしなくても何とかなるかもしれませんが、
20年以上生きてきて自分と向き合うことって、
中々ないと思います。
せっかくの機会だからやってみてもよいのでは？

**採用担当に
ききました！**

学生の価値観（**企業に何を求めるか**）と弊社の価値観
（**こんな人と一緒に働きたい**）が**合うか合わないかを確認**して
います。例えば「能動的に動ける人」を求めているのに、学生
が「教育研修」を第一優先にもってくるなら、「受動的に動く
人かな？」と考えて他の質問でより掘り下げていきます。



何も考えずにフワッとしてしていると、内定が出ても決めきれない
学生も多いです。
しかし、こだわりが強すぎると入社後のギャップに耐え切れずに
早期離職する場合も出てきます。**柔軟に考えられることも大事です。**

企業が「強み」を質問するのはなぜ？



「強み」を知りどう活かしたいか？弱みをどう捉えてカバーしようとしているのか？**ビジネスシーンを想定している学生は少ないです。**
就活は自分をアピールすることでもあります。
そう考えれば自己PRは必須で、その際に**自分を客観視することも必要**になります。

**採用担当に
ききました！**

学生自身の強みが自社で活かせるかを判断したい企業が多いことが、「強みや長所」を問う理由だと思います。



「就活の軸」を考える際にも連動しています。



就活の先には「働く＝自分の労働の対価として給与をもらう」があるので強み・自身のウリをちゃんと認識して、「こういう部分で自分は貢献できるかも」という気持ちをもっておいてほしいです。

採用担当者が質問を通じて知りたいのは



目的意識をもって就職活動をしているか？



「即席の興味・関心」になっていないか？

「こういう会社に合うはずの自分」、「こんな仕事に相応しいはずの自分」を取り繕っていないか？

ビジネス視点で企業を調べた上で、自ら考えて行動しているか？



自身を客観的に理解しているか？



企業は「正しい就活はこれ！」とは教えてくれません。

自己理解には、100点満点もここまですれば「正解」ありません。

採用担当者は「エスパー」ではありません。察してもらうことを期待するのではなく、自身の納得解を深めて「自分の言葉」で伝えていけるようにしましょう！



考え方、捉え方は変化するもの。



「他人から見た自分」
客観的な視点を取り入れる



自己理解だけにこだわり過ぎない。
業界・企業研究と併せて行おう。



自己理解は何度でも、納得いくまで。

キャリアセンターからの お知らせ

しょうシリーズには 自己分析、業界研究、ES、面接講座 があります！！

他の講座もぜひ受講ください！！

※一度受講した講座でも、再受講が可能です

講座概要はこちらから↓



予約はこちらから↓



情報ポータル
(<https://www.as.hosei.ac.jp/>)

⇒キャリア就職システム

⇒「支援行事の参加予約」
から希望の講座を予約

**キャリアセンターでは個別相談を
受けています。
ぜひ、ご利用ください！！**

市ヶ谷はこちら↓



多摩はこちら↓



小金井はこちら↓



**本日はご参加
有難うございました**



アンケートにご協力お願いします

自己分析の参考書籍

自己分析（自己理解）には、これをすれば100点満点や正解はありません。今の自分から、過去を整理するための参考と考えてください。紹介した書籍は、キャリアセンターで閲覧、貸出しも行っています。



マイナビ2022
オフィシャル就
活BOOK 内定
獲得のメソッド
自己分析
適職へ導く書き
込み式ワーク
シート



新しい就活



2社で迷ったら
ぜび、5社落ち
たら絶対読むべ
き就活本



絶対内定2022: 自
己分析とキャリア
デザインの描き方



「業界・企業研究をしよう」講座で、詳しく解説します。
ぜひ参加してください。